

2016年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	建築・デザイン学科							
科目名	人間工学							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年次または3年次前期			
必修・選択の別	選択必修科目(デザインコース) 選択科目(建築工学コース) 選択科目(建築コース)							
担当者	大箸純也							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの形態的特性の設計への適用のための基礎知識を習得する(D1) ・ヒトの行動や生活における負担を知るための基礎となる生体負担指標を知る(D1) ・姿勢における生体負担を知る(D1) ・設計における安全性の確保のための原則を知る(A5) ・様々な人を対象とするための基本的な考え方を知る(A5,D1) 							
日程と内容	<p>4月11日 予定、評価、注意点、広告における人間工学</p> <p>4月18日 人間工学の歴史、必要とされる条件、椅座での腰部負担への腰椎形状の影響(股関節可動域、大腿後部の筋の影響、よく出る問題例、投げ足姿勢まで)</p> <p>4月25日 椅座・正座・胡坐の比較・評価。座面の前傾について。いすについての腰椎の形状以外の要素。人間工学で必要となる知識。姿勢変化の重要性。いすの人間工学での設計要素</p> <p>5月2日 人間工学において必要な姿勢。人間工学の限界と有用性。ユーザ・インターフェースのメンタルモデル(異なる考えの存在)</p> <p>5月9日 ユーザ・インターフェース：メンタルモデル、その形成のための類似例の提示と構造・原理の提示、一貫性、アフォーダンス、フィードバック、ポピュレーションステレオタイプ(水栓レバーの例まで)</p> <p>5月16日 ユーザ・インターフェース：一貫性、アフォーダンス、フィードバック、ポピュレーションステレオタイプ、識別性、マッピング、フィッツの法則、レイアウト</p> <p>5月23日 生体計測：測定基礎、種々の要因(人種、性)、前半試験</p> <p>5月30日 生体計測：測定基礎、種々の要因(年齢、時代他)、パーセントイル値(練習問題の前まで)</p> <p>6月6日 動作空間と作業域、種々の生体計測(BMIまで)</p> <p>6月13日 体型、体脂肪、重心、臺表面積、生理的負担：酸素摂取量、心拍数、筋電図(冷蔵庫宣伝まで)</p> <p>6月20日 生理的指標による身体負担の評価の続き、立位・中腰での負担、ノーマライゼーションとベツ</p>							
成績評価基準	定期試験	65%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	35%	計	100%				
授業到達目標の達成度	最後は駆け足になりましたが、どうにか予定を終えることができました。							
反省点	全体的に、静かすぎて、活気を得ることができなかったようです。							
来年度の計画	今年度限りの科目となります。ありがとうございました。							
授業評価アンケートに対するコメント	小レポートの点を取れないという意見がありました。文章としての記述が難しい場合もあったかもしれません。日本語を正しく記すのは難しいものです。意識して正しい文章を書くように心がけて下さい。							
履修登録者数	20名	定期試験受験者数	17名	合格者数	16名	合格率	94%	